

梅毒検査で陰性だった方へ

感染の機会から2～3か月以上経過していない場合には、念のため、もう1度検査を受けることをお勧めします。

◎梅毒は、性行為によって粘膜や皮膚の小さな傷から感染します。

オーラルセックス(口腔性交)でも感染、
キスでも感染する。

症状が自然と消えて、
治ったと思い込むことがある。

症状がなくてもパートナーを
感染させることもある

免疫ができないので、
治療しても何度でも感染する



予防には、不特定多数の人との性行為を控えること、
コンドームを正しく使うことが有効です。

★女性が感染して治療しないでいると、
妊娠した際に、お腹の赤ちゃんに感染することがあります。

◎梅毒の症状

第1期 感染後3週～	感染した場所(性器、肛門、口)にできもの、ただれ、しこりができるか、 または、症状がない。治療しなくても約1か月で症状が消える。
第2期 感染後3か月～	手のひら、足の裏など全身にパラ疹(発疹やぶつぶつ)ができる。 治療しなくても、数週間～数か月で症状が消える。
潜伏梅毒	症状がないまま何年も経過するが、脳、眼、神経、内臓で感染症状が進行。
後期梅毒	感染から数年～数十年後に眼、心臓、血管、神経に症状が現れる。

◎梅毒検査を受けるには

症状がある場合、パートナーが感染している → 医療機関へ

症状はなく、パートナーの感染も不明だが心配 → 保健所へ(無料・匿名)